

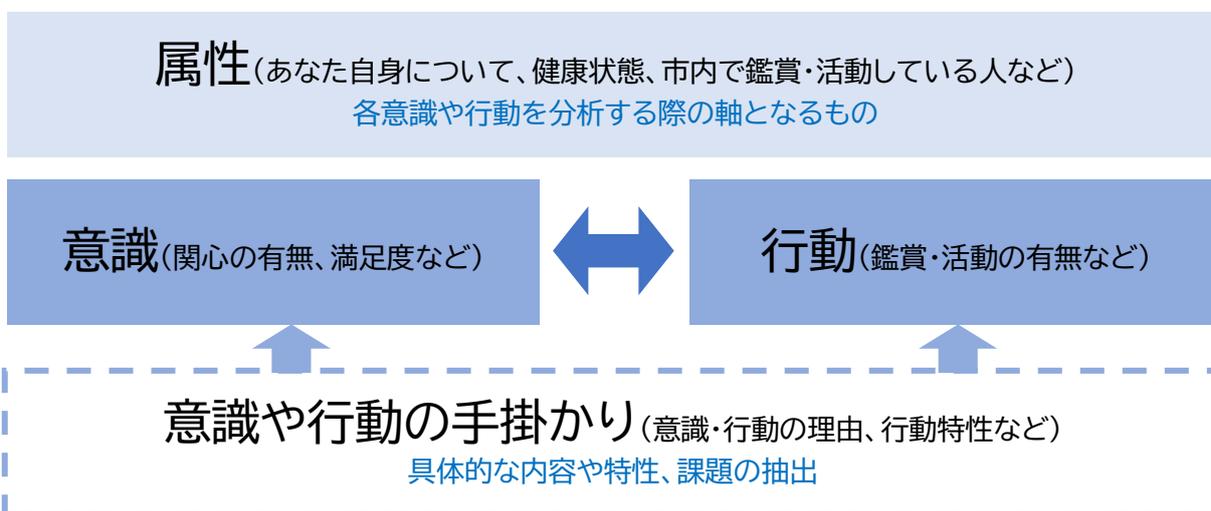
西東京市文化芸術に関する市民意向等 調査概要（案）

1. 調査のポイント

第3期計画では新しい体系の中で取組を推進していくものの、第2期計画で整理している4つの効果（目指すべき姿に併せて複合的に生み出される効果）や鑑賞・体験、活動、文化を担う人材育成、地域文化などの要素は継承していくため、各施策を検討する上での基礎資料とする。

目指すべき姿	
市民一人ひとりが文化芸術を享受・創造・発信できる 文化の香りあふれるまち	
目指すべき姿に併せて複合的に生み出される効果	
心身の健康	○健康状態と文化芸術との関連性
地域への愛着	○地域の愛着と市内の鑑賞割合や文化イベント等の参加との関連性
共生社会の実現	○外国人や障害者等に対する施策の重要度など
地域が活性化	○文化芸術を活発にすることによる効果との関連性
基本方針	キーワード
1 参加のきっかけづくり	誰もが気軽に楽しめる、鑑賞活動、子ども、情報発信
2 市民が活動しやすい環境づくり	文化的な環境、文化施設
3 文化芸術を担う人づくり	人材育成、活動支援、文化芸術を支える活動
4 伝統文化の継承	地域文化、文化財
5 交流による活動の拡大・活性化	交流、まちづくり、地域の活性化、共生社会
第3期計画策定時に考慮すべき新しい視点	
ウェルビーイング	心身と社会的な健康を意味する概念であり、国や東京都の文化芸術政策でも関連性を重視している。
新たな生活様式	従来の方式による文化芸術活動が制限される中で、新たな活動手法を含めた取組が展開されている。
SDGs (持続可能な開発目標)	活動の継続、担い手の育成や文化的な環境づくりなど、文化芸術施策の持続性を高めていく取組を推進する。

●調査の要素



2. アンケート調査

(1) 調査の目的

第3期文化芸術振興計画の策定のため、市民の文化芸術に関する状況や考え等を把握する。

(2) 対象者

	対象	サンプル数	抽出方法
① 市民を対象としたアンケート調査	18歳以上の市民	市民 1,500 人程度	市住民基本台帳より男女の比率が同数程度となるように無作為抽出
② 子どもを対象としたアンケート調査	小学5年生 中学2年生 高校2年生	児童・生徒 1,000 人程度	学校を通じて該当クラスに配布

(3) 実施方法

① 市民を対象としたアンケート調査

郵送による配布、郵送及びWEBによる回答・回収

(送付する調査票にWEB用の回答フォームのURLとQRコードを掲載する。)

② 子どもを対象としたアンケート調査

学校を通じた配布、回収

(4) 実施スケジュール (案)

7月	■第1回推進委員会及び第1回庁内検討委員会	調査票案の提示
8月	■第2回推進委員会	調査票の検討
10～11月	《アンケート調査の実施》	
		調査期間を3週間とし、〆切1週間前に礼状兼督促状を発送
12月～		集計・分析、報告書の作成
2月	■第6回推進委員会及び第3回庁内検討委員会	調査結果の報告

調査項目案（市民）

問	項目	区分	設問意図、★指標候補など
1 回答者属性（自分自身について）			
1	性別		
2	年齢		
3	就業状況		
4	住まいの地域		
5	居住年数		
6	健康状態	新規	○文化芸術に親しむことによる心身の健康との関連を把握
2 文化芸術の鑑賞・体験について			
7	文化芸術の鑑賞・体験、活動への関心の有無		○関心があるものの、鑑賞できていない層の課題把握
8	過去1年間の鑑賞・体験分野		★鑑賞した市民の割合
-1	◆過去1年間に利用した文化施設の場所		○市内の鑑賞状況を把握
-2	◆鑑賞・体験の程度		○市民の文化芸術の関心や親しみ度を把握
-3	◇鑑賞・体験しなかった理由		○できていない層の課題把握
9	電子・紙媒体書籍等による鑑賞の有無	新規	○気軽さやどこでも鑑賞できることから、文化芸術の入り口や興味の維持・継続に寄与するものとして市民の鑑賞割合を把握
10	市内イベントの参加の有無		○分野に限定せず、広く市内のイベントへの参加状況を把握
-1	◇市内イベントに参加しなかった理由		
11	今後鑑賞したい分野 (直接鑑賞、インターネットなどによる鑑賞別)	新規	○コロナ禍で鑑賞率が減少していると推測することから、今後の意向として鑑賞したい割合も把握
12	市内で鑑賞・体験するために必要な情報発信		○求められる情報媒体の把握と鑑賞・活動別、している・していない人別の分析
13	新型コロナウイルス感染症による影響前との変化	新規	○困難な状況における市民の活動状況の把握と手法の手掛かりを抽出
-1	◆文化芸術活動の具体的な変化	新規	
3 文化的な活動について			
14	文化芸術活動の有無		★活動した市民の割合
-1	◆活動によく利用する場所		○市内の活動状況を把握
-2	◆充実した活動のための改善点		○活動の課題抽出
15	これまでの文化芸術の支援活動の有無と今後の意向	新規	★支援した・したい市民の割合

問	項目	区分	設問意図、★指標候補など
4 子どもの文化芸術体験について			
16	子どもの文化芸術体験を活発にするために市が力を入れるべきこと		○子どもを対象とした取組のニーズを把握
17	◆子どもの年齢		○子どもの鑑賞・活動状況の把握
-1	◆子どもの鑑賞・体験の有無		
5 西東京市の文化的な環境について			
18	西東京市の文化的な環境の満足度	新規	★文化的な環境の満足度
19	文化的環境を充実するために重要なこと	新規	○満足度を向上させるために必要な取り組みを把握
20	市内の施設に求めるもの	新規	○文化施設のあり方を検討するためのニーズの把握
6 西東京市のまちのイメージについて			
21	住んでいるまちへ愛着の有無		★地域への愛着度
-1	愛着を感じるために必要なこと		○文化芸術に親しむことによる地域への愛着との関連を把握
22	文化芸術に親しみやすいまちだと思うか	新規	★文化芸術に親しみやすいまちだと思う市民の割合
-1	◆思う理由	新規	○思う理由から市の文化芸術に関する強みを抽出
23	文化芸術に期待する効果		○複合的に生み出される効果を含め、市民に求められる文化芸術施策の役割を確認
24	自由記入		○特定の設問では得られない文化芸術に関する意見を抽出

◆◇…該当者のみ回答

※区分にある「新規」は現行計画策定時に行った調査と比較して新たに加えた設問

調査項目案（子ども）

問	項目	区分	設問意図、★指標候補など
1 自分自身と文化芸術の考えについて			
1	性別	新規	
2	学校以外の時間の使い方		○放課後等の遊びを含めて、子どもたちの興味・関心などを把握
3	責任感・挑戦心・自己肯定感など		○文化芸術に興味関心があるほど、自己肯定感などが高い傾向があるため、子どもを対象とした文化芸術の取組の意義や効果を把握
4	文化芸術を好きかどうか		○市民を対象としたアンケート調査の文化芸術の関心の有無に相当
5	人々にとって文化芸術を大切なものだと思うか		○自分が好きかどうかではなく、人々にとって大切なものと考えるか
6	大人になっても文化芸術を楽しみたいと思うか		○現在の継続意向を把握し、次代の文化芸術の担い手につながるか把握
2 文化芸術の鑑賞・体験について			
7	文化芸術の鑑賞の有無について (1) 過去1年間で (2) 今後 ※電子・紙媒体書籍等による鑑賞の有無含む	新規	★鑑賞した市民の割合 ○電子・紙媒体書籍等による鑑賞は気軽さやどこでも鑑賞できることから、文化芸術の入り口や興味の維持・継続に寄与するものとして市民の鑑賞割合を把握 ○コロナ禍で鑑賞率が減少していると推測することから、今後の意向として鑑賞したい割合も把握 ※市民を対象としたアンケート調査と共通設問
-1	◆過去1年間に利用した文化施設の場所		○市内の鑑賞状況を把握
-2	◆誰と鑑賞したか		○文化芸術を通じた関わりや親世代、祖父母世代を巻き込んだ事業展開への参考とする
8	新型コロナウイルス感染症による影響前との変化		○困難な状況における子どもの活動状況の把握と手法の手掛かりを抽出 ※市民を対象としたアンケート調査と共通設問
-1	◆文化芸術活動の具体的な変化		
3 文化芸術の活動について			
9	活動の有無	新規	★活動した子どもの割合
-1	◆活動をはじめたきっかけ		○次代の文化芸術の担い手づくりの参考とする
-2	◆活動を通して感じていること		○文化芸術の活動を通して得られる効果や課題と感じていることを把握

問	項目	区分	設問意図、★指標候補など
4	西東京市の文化芸術について		
10	西東京市をどのように感じているか（愛着）	新規	★地域への愛着度 ※市民を対象としたアンケート調査と共通設問
-1	好きになる（愛着を感じる）ために必要なこと		○文化芸術に親しむことによる地域への愛着との関連を把握
11	文化芸術を楽しむことができるまちだと思うか		★文化芸術に親しみやすいまちだと思う市民の割合 ※市民を対象としたアンケート調査と共通設問
-1	◆思う理由		○思う理由から市の文化芸術に関する強みを抽出
12	市内イベントの参加の有無		○分野に限定せず、広く市内のイベントへの参加状況を把握 ※市民を対象としたアンケート調査と共通設問
13	自由記入		○特定の設問では得られない文化芸術に関する意見を抽出

◆◇…該当者のみ回答

※区分にある「新規」は現行計画策定時に行った調査と比較して新たな設問

3. ヒアリング調査

(1) ヒアリングの目的

市の文化芸術をけん引する活動団体等に対してヒアリングを行い、活動団体等の文化芸術に関する意見や状況を把握する。無作為抽出により広く市民の意見を求めるアンケート調査では得られにくい対象や、実際に事業を行う際に連携や協力を行う団体等の意見を把握する。

(2) 対象者

市内の活動団体及び子ども等（10 団体程度）

(3) ヒアリング項目（案）

対象者	ヒアリング項目	活用方針
①【文化施設】 ◆保谷こもれびホール 指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外部事業者から見る西東京市の文化芸術の特徴や課題 ▶ 事業及び施設、情報発信における短期的、中長期的な課題など 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民が活動しやすい環境づくりの充実のための課題把握 ▶ 事業実施に関する方向性と課題の把握
②【その他施設等】 ◆西東京市多文化共生センター委託事業者 ◆社会福祉法人さくらの園 ◆西東京高齢者クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市内の外国籍を持つ方の課題や取組、意向 ▶ 障害を持つ方の文化芸術活動の現状 ▶ 障害者アートの手法や効果と課題 ▶ 高齢者の文化芸術との関わりなど 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民が活動しやすい環境づくりの充実のための課題把握 ▶ 特定の対象の実態把握（市民を対象としたアンケート調査では得られない対象） ▶ 共生社会の実現、誰もが気軽に文化芸術を楽しめるようになるための課題把握
③【子どもの文化活動関連】 ◆教育機関における図工、美術、音楽等に関わる教員や中学文化部活動の顧問など ◆子どもたちの文化芸術に関わる活動とつながりのある団体（市民ボランティア(アートみる)等)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもの文化芸術に関する考え方 ▶ 子ども達の文化芸術に関する意向、取組について ▶ 文化部活動の状況 ▶ 子どもの文化芸術に関する考え方 ▶ 子ども達の文化芸術に関する意向、取組について など 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文化芸術の担い手づくり（次代の文化芸術の担い手である子どもたちの活動を支える団体の取組を把握） ▶ 市が重要視している「子どもど真ん中」のための施策の展開に向けた調査
④【市内の活動団体】 ◆西東京市文化芸術振興会 ◆西東京市民文化祭実行委員会 ◆伝統文化等継承事業補助金交付団体	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市内文化団体の活動状況・課題 ▶ 今後取り組みたいこと など 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文化芸術の担い手づくり（市内で活動を行う団体とその活動、市内のイベント事業に関する課題を把握）

対象者	ヒアリング項目	活用方針
⑤ 【まちづくり団体】 ◆一般社団法人まちにわひばりが丘	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 市内のコミュニティづくりやイベントの企画について ➢ 市の取組との連携について など 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 文化芸術の担い手づくり（まちづくりやにぎわいの創出などに取り組む上で地域住民との連携手法などについて把握）
⑥ 【子ども】 ◆市内の文化部活動に所属する子ども ◆イベントボランティア参加経験者等	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 部活動を通して得られる経験や大切に思っていることについて ➢ 市の強みや市が文化芸術で力を入れるべきことなど など 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 特定の対象の実態把握（文化活動を実施している対象の具体的な意向や課題の把握） ➢ 市が重要視している「子どもと真ん中」のための施策の展開に向けた調査 ➢ 子どもから得られた市の強みなどの意見を第3期計画に活用
⑦ 共通	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 他分野との連携の可能性について 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 交流による活動の拡大・活性化（スポーツや産業など、他分野と連携することで担い手や事業拡大の検討のため把握）

(4) 実施方法

対面によるヒアリング（状況によりオンライン等を実施）

※⑥【子ども】についてはワークショップも実施

(5) 実施スケジュール（案）

7月	■第1回推進委員会及び第1回庁内検討委員会	ヒアリング調査概要の提示
8月	■第2回推進委員会	ヒアリング調査概要の検討
10～11月	《ヒアリング調査の実施》	
12月	～報告書の作成	
2月	■第6回推進委員会及び第3回庁内検討委員会	調査結果の報告